

辻井伸行

ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール優勝10周年記念

特別コンサート



アメリカ、テキサス州フォートワースで4年に一度開催される世界的コンクール「ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」。2009年6月、当時、20歳だった辻井伸行はこのコンクールに初挑戦し、予選からファイナルにいたるまで、圧倒的な演奏を繰り広げ、聴衆、ネットLIVE中継で見ていた多くの人々、そして審査員にまでも深い感動と興奮をもたらし、日本人として初の優勝を果たしました。その後、欧米でも注目の若手ピアニストとして、数多くのリサイタルや著名指揮者、オーケストラとの共演を重ねてきました。あの、世界が感動したコンクールから10年。世界中で研鑽を積んできた辻井伸行がコンクールで熱演した楽曲を日本の聴衆の前で披露します。

1st stageではファイナルで披露したソロ曲からベートーヴェンの熱情ソナタを、2nd stageではセミファイナルで披露した室内楽、そして3rd stageではファイナルでフォートワース交響楽団と共に演奏し、多くの人々に深い感動を与えたショパンの協奏曲を演奏します。

辻井伸行 (ピアノ)

2009年6月に米国テキサス州フォートワースで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。カーネギーホール、ウィーン楽友協会、ベルリンのフィルハーモニー等で演奏会を行い、ロンドンの「プロムス」等の音楽祭に出演している。エイベックス・クラシックスより継続的にCDを発表し、2度の日本ゴールドディスク大賞を受賞。作曲家としても注目され、映画《神様のカルテ》で「第21回日本映画批評家大賞」受賞。

PROGRAM

1st stage: ピアノ・ソロ

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調《熱情》Op.57

辻井伸行 (ピアノ)

2nd stage: 室内楽

シューマン: ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44

辻井伸行 (ピアノ) 三浦文彰 (ヴァイオリン) 川久保賜紀 (ヴァイオリン) 川本嘉子 (ヴィオラ) 向山佳絵子 (チェロ)

3rd stage: 協奏曲

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11

辻井伸行 (ピアノ) ニール・トムソン 指揮 札幌交響楽団